

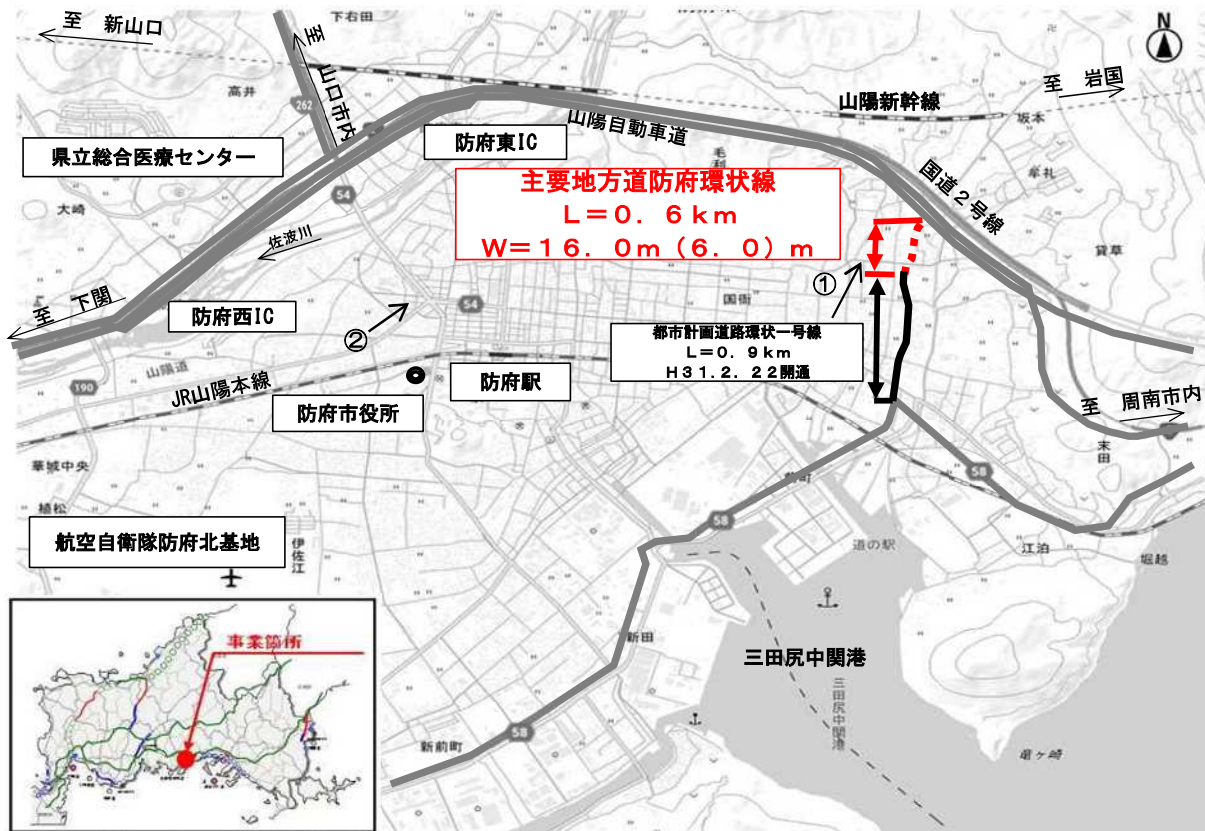
再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 (年) ○ 再評価後 (年) ● その他 (変化)				
1 事業概要	事業名	主要地方道 <small>ほうふかんじょう</small> 防府環状線 道路改築事業				
	事業場所	防府市 <small>むれやなぎむれ</small> 牟礼柳～牟礼				
	事業主体	山口県				
	事業期間	《 前回評価 令和 元 年 時 》 平成 26 年度 ～ 令和 8 年度 《 令和 6 年度 》 (西暦 2014 年度 ～ 西暦 2026 年度 《 西暦 2024 年度 》)				
	総事業費 (内用地補償費)	《 1,490 百万円 》 1,600 百万円 (270 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	1,080 百万円 (220 百万円)	進捗率 (用地補償費)	68 % (81 %)
	事業目的	<p>主要地方道防府環状線は、防府市街地の外環を形成する主要幹線道路であり、重要港湾三田尻中関港や臨海部の工業地域へのアクセス道路として重要な役割を担っている。</p> <p>旧国道2号より北側930mの区間において、街路事業による道路整備が完了したところであるが、更に北側の国道2号に至るまでの区間については、歩道が未整備で幅員狭小の市道しかないことから、歩行者や自転車利用者が危険にさらされている。また、幅員狭小の市道に通過交通が流入することにより、交通渋滞が発生している。</p> <p>このため、当該区間の整備を行うことにより、高速インターチェンジや重要港湾三田尻中関港などの広域交流拠点へのアクセス性の向上、防府市街地における交通渋滞の緩和、地域住民の安全で円滑な交通の確保を図ることを目的としている。</p>				
事業内容	<p>○延長 : L=0.6 km (バイパス整備)</p> <p>○幅員 : 全幅16.0m (車道3.0m×2=6.0m、自転車歩行者道4.5×2=9.0m)</p> <p>○道路区分 : 第4種第2級</p> <p>○計画交通量 : 8,200台/日</p>					
事業効果	<p>○三田尻中関港から防府西ICの移動時間が26分から17分になるなど、地域間の移動時間が短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流の迅速化、円滑化により、地域産業の活性化が期待できる。 ・防府市東南部から三次救急医療機関(県立総合医療センター)への搬送時間の短縮により救命率の向上に寄与する。 <p>○周辺道路の渋滞緩和により、円滑な交通が確保される。</p> <p>○歩道の整備により歩行者や自転車利用者の安全性が確保される。</p>					
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	<p>当事業より南側0.9kmの都市計画環状一号線が完成していること、また、佐波川右岸地域への広域防災広場の整備や消防署東出張所の隣接地への移転が予定されるなど、広域的な地域連携強化に資する当該道路の必要性は依然として高い。</p> <p>【都市計画道路環状一号線(牟礼柳地内から沖今宿二丁目地内)】 ○平成31年2月に供用開始</p> <p>【佐波川右岸広域防災広場】 ○災害時の広域的な防災拠点となる防災広場を整備予定</p> <p>【消防署東出張所】 ○防災上安全な当事業箇所隣接地に移転・建替え予定</p>			中項目評価	大項目評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当該道路は、「防府市都市計画マスタープラン(平成30年度から令和20年度)」に、産業活動や物流の効率化に寄与する道路として位置づけられている。</p> <p>また、防府市や防府商工会議所から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は事業に協力的であり、事業推進にあたっての協力体制が整っている。</p>			中項目評価	大項目評価

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th colspan="3">今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>前回 (基準年：R1)</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>2,211</td> <td>2935</td> <td>2935</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行費用短縮便益</td> <td>246</td> <td>469</td> <td>469</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>75</td> <td>62</td> <td>62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>2,532</td> <td>3466</td> <td>3466</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>1,275</td> <td>1546</td> <td>291</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>35</td> <td>41</td> <td>41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>1,310</td> <td>1587</td> <td>332</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>1.9</td> <td>2.2</td> <td>10.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>前回評価：「費用便益分析マニュアル(H30.2)」 基準年：H30 平成22年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量</p> <p>今回評価：「費用便益分析マニュアル(R4.2)」 基準年：R5 平成27年度道路交通センサスペース 令和22年推計交通量</p>	区分	主な項目	今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)			備考	前回 (基準年：R1)	全体事業	残事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	2,211	2935	2935		②走行費用短縮便益	246	469	469		③交通事故減少便益	75	62	62		④その他の便益	0	0	0		総便益	2,532	3466	3466		費用 (C)	①事業費	1,275	1546	291		②維持管理費	35	41	41		③その他	0	0	0		総費用	1,310	1587	332		費用便益比 (B/C)		1.9	2.2	10.4		大項目 評価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目	今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)			備考																																																												
			前回 (基準年：R1)	全体事業	残事業																																																													
	便益 (B)	①走行時間短縮便益	2,211	2935	2935																																																													
②走行費用短縮便益		246	469	469																																																														
③交通事故減少便益		75	62	62																																																														
④その他の便益		0	0	0																																																														
総便益		2,532	3466	3466																																																														
費用 (C)	①事業費	1,275	1546	291																																																														
	②維持管理費	35	41	41																																																														
	③その他	0	0	0																																																														
	総費用	1,310	1587	332																																																														
費用便益比 (B/C)		1.9	2.2	10.4																																																														
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	<p>用地買収は概ね完了しており、残る補償についても所有者と鋭意交渉を進めている。事業実施における阻害要因はなく、今後計画的な事業進捗が見込まれることから、引き続き当該道路の整備を進める。</p> <p>【事業費の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良工について、施工前に試験ボーリングを行った結果、想定より土質が悪く、セメント添加量が増となったため事業費を変更する。 ・国道2号への接続の利便性向上のため、国道2号と接続する市道との交差点の設計及び施工を行うこととしたため事業費を変更する。 <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の交差点の整備に伴い、関係機関との協議・調整、施工等に時間を要するため、事業期間を延伸する。 	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																															
	(4) 代替案等の縮減の可能性	<p>コスト縮減</p> <p>発生土の現場内流用や他工事からの盛土材流用を積極的に行いコスト縮減を図る。</p> <p>代替案</p> <p>利便性・経済性・施工性を総合的に勘案し、最適ルートを選定していることから、計画どおり進めることが妥当と考える。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">中項目 評価</td> <td style="width: 50%;">大項目 評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中項目 評価</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td></td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A ・ B ・ C	中項目 評価		a・b																																																								
中項目 評価	大項目 評価																																																																	
a・b	A ・ B ・ C																																																																	
中項目 評価																																																																		
a・b																																																																		
3 環境	配慮事項	橋梁工事での濁水対策として、沈砂池や濁水処理フィルター等を設置する。また、騒音振動対策として、低騒音、低振動型の機械を使用し、周辺の住環境に配慮した施工を行う。																																																																
4 対応方針 (事業実施主体案)	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																																
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業を継続する必要がある。																																																																
	備考																																																																	

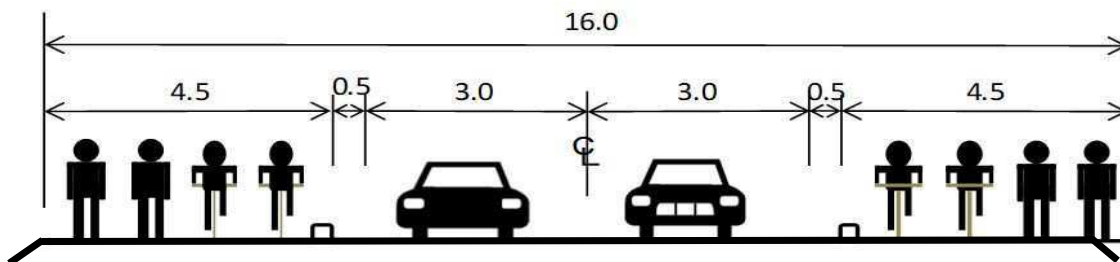
主要地方道 防府環状線 道路改築事業

平面図



※この地図は、国土地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真



①整備状況



②(主)防府停車場 八王子交差点付近の渋滞状況